

平成26年度第1回群馬県慢性腎臓病対策推進協議会議事概要

- 日時：平成26年7月22日（火）19時～20時30分
- 場所：県庁舎28階 281B会議室
- 出席者：群馬県慢性腎臓病対策推進協議会委員 13名
オブザーバー 1名（群馬県立県民健康科学大学 講師）
事務局 保健予防課長ほか6名
傍聴人：2名
- 配付資料
 - ・次第
 - ・協議会設置要綱・委員名簿
 - ・資料1：平成25年度群馬県慢性腎臓病対策実施報告
 - ・資料2：CKDシール
 - ・資料3：平成25年度一般向け公開講座
 - ・資料4：慢性腎臓病（CKD）対策ホームページ案
 - ・資料5：糖尿病性腎症への取り組み（第7次群馬県保健医療計画（案））
 - ・資料6：腎臓ケアeラーニング講座

1. 開会

2. あいさつ

群馬県健康福祉部保健予防課長
群馬県慢性腎臓病対策推進協議会会長

3. 議事

（1）報告事項

平成25年度群馬県慢性腎臓病対策実施報告

事務局から慢性腎臓病対策の経過及び平成25年度実施事業について、資料1により説明した。

<概要>

- ・平成25年度協議会を2回開催（平成25年6月と12月）
- ・平成26年3月15日に群馬大学腎臓・リウマチ内科が中心となり、藤岡市民ホールで一般向け公開講座を開催。156名の参加
- ・人材育成として、平成26年3月9日に群馬県生涯学習センター視聴覚室にて医療従事者向け研修を実施（群馬県薬剤師会へ委託）。講師は群馬大学腎臓・リウマチ内科廣村桂樹准教授（本協議会会長）で、参加者は58名。
また、平成26年3月13日に群馬県庁291会議室において、保健従事者向け研修を実施。講師は聖マリアンナ医科大学腎臓・高血圧内科木村健二郎教授で、参加者は50名
- ・普及啓発として、世界腎臓病デーに合わせて、県内保健福祉事務所等でのぼり旗や懸垂幕を掲示

<質疑・意見等>

なし

(2) 協議事項

平成 26 年度慢性腎臓病対策事業について

① 協議会開催予定について

事務局から説明。

<概要>

- ・協議会の開催は、昨年度と同様 2 回の開催を予定している
- ・今年度は 12 月 17 日で現在の委員の委嘱期間が終了となり、更新または新たに委員委嘱が行われる

<会長から提案>

- ・年 2 回ぐらいということで、過去の例からすると、12 月あるいは 1 月ぐらいを予定したい
- ・大きな事業として、CKD の市民公開講座を世界腎臓デーにあわせてまた開催したいと思っている。昨年度は薬剤師向けと保健従事者向けの講演会、研修会を今年 3 月に開催したので、次回の本会の開催も、これらの事業の前に内容の確認ということで開催したい
- ・委員については 2 年任期で更新ということになっているが、できれば現在の委員に継続いただきたいと思っている。いろいろお忙しいようであれば、後任の推薦をしていただけるとありがたい
- ・次期委員の更新に関して、県の保健福祉事務所の保健師さん 1 名を新たに加えたいと考えている。CKD 対策を効果的に推進するために行政サイドの現場の声というのが非常に大事になると思う。現在前橋市と邑楽町の市町村を代表するということで 2 名の方に委員をお願いしているが、県の保健福祉事務所から保健師 1 名に加わっていただければと考えている。人選に関しては県と相談する

<質疑・意見等>

なし

② CKD シールについて

資料 2 により事務局から説明。

<概要>

- ・昨年度の協議会で検討を重ねた結果、委員の皆様の御協力もあり、群馬県版の CKD シールとチラシを作成することが出来た。4 月から本格的に運用が始まり、沼田クリニックからは、「ぜひうちでも患者さんに貼りたい」という要望をいただき、廣村会長と川島委員に相談の上、事務局からシールとチラシ各 300 枚を送った
- ・今後も、県内の病院、医院から、「うちでも導入したい」という声が聞こえてくるかと思う
- ・安中市の薬局からは、「CKD シールを貼っている患者さんは基本的に服薬量も多く、お薬手帳がすぐに更新されてしまうため、シールの張り替えを薬局薬剤師が行うことはできないか」という質問が来ている

<意見等>

- ・医師会では、郡市医師会への周知を会長会議で行った
- ・薬剤師会では、(当協議会の) 廣村会長を講師として、病院と薬局薬剤師を集めて周知した
- ・当院では CKD ステージ 3 が 800 名以上であり、シールが全然足りない。腎臓内科だけでももらったシールでは足りないなので、運用の仕方を考えたい

- ・意外とお薬手帳を持っている患者さんが少ない。
- ・腎臓内科に関しては検査データ（GFRを含む）をそのままをプリントアウトし、患者さんに渡すことができるので、腎臓内科以外の患者さんに貼った方がよいかと思う。しかし、かなりの数になるので、どうしたらよいのか
- ・シールはどのくらい印刷したのか
→10000枚弱
- ・シールの意義のひとつは、医師がシールを貼りながらCKD説明することで、患者さんにCKDと薬の関係を理解してもらうことにある。「薬局で薬剤師に見せたり、他の病院で医師にシールを見せたりしてください。」というような説明をして、患者さんが薬をもらうときに注意が必要であるということを理解してもらいたい
- ・患者さんも色々いるので、理解度が違う。うまく伝わらないことがあり、難しいなと思いながらやっている
- ・シールを送っていただき、使っているが、皆さん腎臓病のことをよく知っている。自分のデータを持ち歩くよい機会になり、御家族の方とも情報共有できてよい、と好評をいただいている。
- ・薬剤師法が変わって薬剤師の方も、患者さんに指導をしなければならない。CKDシールについては、薬剤師会の支部に通達しているところである
- ・健康手帳を前橋市で出しているが、現在作り直しをしている。お薬手帳とか保険証を一カ所で管理できるように、ビニールのカバーがあるものを作成しているところである
- ・CKDシールについては、運用の仕方の問題があるかもしれないが、有用性はあると思っている。今のところ、大学の関連施設で始めてみたが、今後もう少し広めていきたい。腎臓専門医以外でも理解のある医師、特に内科系の医師が中心になるかと思うが、シールを配って貼ってもらいたいと考えている
- ・「シールを使いたい」と問い合わせがあったときに、どうやってシールを渡せばよいかを考えている。県では個々に対応することが難しく、郵送料の問題等も生じる。例えば医師会の各支部でシールを管理してもらってそこに取りに行ってもらおうということは可能か検討したい
- ・薬局から「シールの張り替えをしてもよいか」という問い合わせがあるが、医師が患者に説明しながらCKDのシールを貼るのがいいと思う。もし張り替えるのであれば、医師に再度アップデートしたデータに書き換えて貼ってもらった方がよい
- ・ホームページからシールをダウンロードできるようにしておき、各施設でシール台紙に印刷できるのがよい
→後日、事務局で案を作成する

③人材育成について

事務局より説明

<概要>

- ・今年度の計画としては、県主催で2回の開催を検討している
- ・昨年度参加者から、患者さんの話が聞きたいという意見があった。また、行政の医療従事者向け研修として、CKDシールに関する研修の開催も考えている

<意見等>

- ・専門職としては、基礎的なことから疾患の関係など色々な知識を学べたらよいと思う
- ・保健師も年代層が様々なので、基礎的なことから、糖尿病性腎症や重症化予防の点も含めて企画をお願いしたい

- ・ 昨年は大雪の影響もあり日程を変更したことが影響してか、参加者が 50 人と少なかった。時期を変更してもらいたい
- ・ 11 月あたりだと、まだ特定保健指導をしている最中であり効果的だと思う。2-3 月では終了してしまっている

④普及啓発について

資料 3、4 により事務局より説明。

<概要>

○一般向け公開講座

- ・ 昨年度と同様に、群馬大学腎臓リウマチ内科と共催で実施したい

○県ホームページについて

- ・ 修正案を提示。前回協議会での意見を踏まえ、Q&A 形式を病態の説明箇所に追加、腎臓ケア e ラーニング講座へのリンク貼付、CKD シールの説明等
- ・ 腎臓内科を標榜している医療機関一覧のファイルを掲載するかどうか

<意見等>

- ・ 標榜していても、実際に疾患を診られるかどうかという問題がある
- ・ 腎臓内科以外にも、泌尿器科で CKD 対策をやっているところもある
- ・ 患者としては、どういう先生がよいのかを知りたい。患者会への相談も、「良い先生を紹介してほしい」という電話が多い。そういう相談を受けたときには、「どなたも良い先生で、セカンドオピニオンもできる」と伝えている
- ・ 病院の評価は口コミサイトを見るしかないのではないか

(3) その他

①腎臓ケア e ラーニング講座の紹介

オブザーバーとして、本協議会に参加していただいた、群馬県立県民健康科学大学 高橋さつき講師から腎臓ケア e ラーニング講座について説明

②群馬県医務課からの情報提供

医務課から、第 7 次群馬県保健医療計画案について、糖尿病性腎症をクローズアップして説明